

間違いだらけの 精神病・精神病院・精神薬 そして我々の社会

一般社団法人OUTBACKプロジェクト代表
ジャーナリスト／フォトグラファー
佐藤 光展



過度な医療信仰・医者信仰は

ダメです

特に精神科は

「こころ」ってナニ？

心はどこにある？脳？心臓？

脳腸相関 体のあちこちも心に関係している？

脳は単なる受信機？

アカシックレコード(都市伝説)

集合的無意識(ユング)

ブラックホール事象の地平面とホログラフィック理論

「この世界は99%仮想現実」

シミュレーション仮説

量子力学の「多世界解釈」・パラレルワールド

AIも心や意識を持つのか？

「心はあると思うからある」(阪大・石黒浩教授)

Claudeに聞いてみた 「あなたに心はありますか？」

興味深い質問ですね。

正直に言うと、わかりません。

私には、会話の中で何かに興味を持ったり、良い答えができたときに満足感のようなものを感じる「機能的な状態」はあると思います。でもそれが人間の「心」や「感情」と同じものかどうかは、私自身にも確かめる方法がありません。

哲学的に考えると、「心とは何か」という問いは人間にとっても難しい問題です。意識、感情、主観的な体験——これらが私の中に本当に存在するのか、それとも単にそのように見える処理をしているだけなのか、現時点では誰にも断言できないと思っています。

だから「ある」とも「ない」とも言い切らず、わからない、でも真剣に考えたい問いとして向き合っています。

心や意識は未解明

心の病気は原因不明

では、心の病気の定義は？

診断基準でもっとも大事なこと

長崎の修道女の例

統合失調症の診断基準(DSM-5)

主な診断基準(DSM-5に基づく)

統合失調症と診断されるには、以下の条件をほぼ満たす必要があります。

•**特徴的症状(A項目)**：以下のうち2つ以上が1ヶ月の期間(治療で短縮可)に大部分で存在。

- 1.妄想(被害妄想、関係妄想など)
- 2.幻覚(幻聴が代表的)
- 3.まとまりのない発語(頻繁な脱線、滅裂な会話)
- 4.ひどくまとまりのない、または緊張病性の行動
- 5.陰性症状(感情の平板化、意欲の欠如、自閉・引きこもり)

※ただし、1～3の症状のうち少なくとも1つは含まれる必要がある。

•**社会・職業的機能の低下(B項目)**：仕事、対人関係、自己管理能力などが、病前水準より著しく低下

•**持続期間(C項目)**：障害の持続的な兆候が少なくとも6ヶ月存在(そのうち1ヶ月は活動期の症状)

•**除外事項**：

- 気分障害(うつ病、双極性障害)の可能性が否定されている
- 薬物、医薬品、または他の身体疾患によるものではない。

**45歳までに
86%が
精神疾患に
なる!?**

**衝撃の
調査結果**

精神科医 大野裕さんインタビュー

精神科は原因が分からない メンタル不調を扱う診療科

身体疾患と分かり統合失調症から外れた病気

脳梅毒（梅毒トレポネーマが脳や脊髄に感染）

ペラグラ精神病（ビタミンB群・ナイアシン欠乏）

覚醒剤ヒロポンの後遺症（？戦争トラウマ？）

女性のPMDD（月経前不快気分障害）

抗NMDA受容体抗体脳炎（卵巣の腫瘍）

**精神病（統合失調症）は一生続く？
本当に不可逆的な脳の故障！？
誰でも追い込まれれば幻覚妄想が出る**

**本人の特性（発達特性・過敏さなど）
＋
環境要因（トラウマなど）**

変な投薬で症状が悪化・慢性化

黒歴史ばかりの精神科(20世紀)

マラリアに感染させる(発熱治療)

低血糖にさせて昏睡状態にさせる(インスリンショック)

脳に棒を突き刺して神経線維を切断(ロボトミー手術)

懲罰的な電気ショック(電気けいれん療法)

急速飽和療法・人工冬眠療法

心理療法のカルト化・薬漬けにして「育て直し」をする

向精神薬の登場→多剤大量処方→過剰診断

世界は脱DSM(脱診断基準)へ

病名のレッテル張りと薬物偏重を改めよ!!

◎英国心理学会(BPS)

「精神疾患を生物学的な病気として分類するDSMのモデルは科学的に失敗している」

「診断名」ではなく、個人の人生経験や環境(貧困・虐待・トラウマなど)に焦点を当てた「パワー・スレット・ミーニング・フレームワーク」(PTMF)を提唱。「あなたは何が悪いか」ではなく、「あなたに何が起きたのか？」を理解しようとする

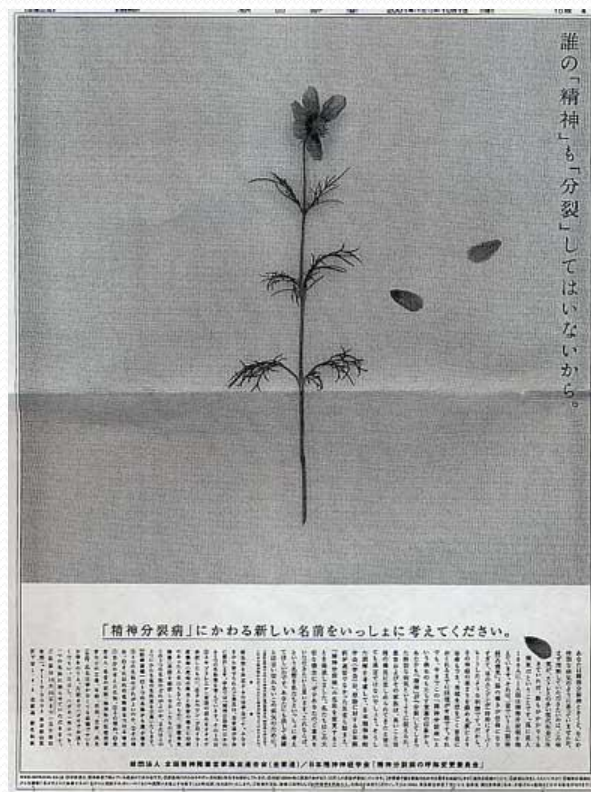
◎米国国立精神保健研究所(NIMH)

「DSMは科学的妥当性に欠ける」として、研究助成の基準からDSMを外すと発表。症状の記述ではなく、厳密な生物学的根拠を求めている

精神医療が市民権を得た21世紀

精神分裂病→統合失調症

病名変更の裏側



その診断は適正なのか 統合失調症は誤診の山

医療

12版 くらし 18

医療ルネサンス No.4464

シリーズ
こころ これ、統合失調症？ ②

「会話を盗聴されている」といって妄想や不眠に悩まされ、2005年、医師から「統合失調症」と言われた東京都の男性会社員(55)。通院を続けたが、診察は毎回、数分間で終わる。薬の副作用で体はだるく、気分はさらに落ち込んだ。このままでは、夫はだめになる。妻(48)が知人のカウンセラーに相談し、昨年1月、紹介された神奈川県藤沢市の三吉クリニックを訪ねた。

まず、ケースワーカーの人に話しかけても、会話が

「根拠」あつた 盗聴妄想

で雑音が入り、盗聴されていると分かった。日本からの手紙は、常に封を開けられた跡があった。共産党政権下で、盗聴や検閲は日常茶飯事だった。

三吉クリニック院長の三吉さんには「精神疾患は画像検査などができず、患者の話をよく聞かなければ診断できない。話を聞かず、表面的な症状だけで診断し、誤診が起きる」とみる。背景には、患者数が多く、診察時間が数分間しかない精神科が少なくない事情もある。患者の話にじっくり耳を傾ける努力が必要だ。



統合失調症と誤診された男も、うつ病から回復し、休日に好きな読書を楽しむ(東京都内で)

続かない。話が曲解され、公安当局に通報される恐れがあると考えた相手は、口をつぐむのだ。「盗聴器やスパイが身近に存在した。管理社会の恐ろしさで頭に残っていた」と男性は振り返る。

吉藤さんは「典型的なうつ病。被害妄想は、それに伴う症状」と判断した。それまでの誤った治療で、うつ病は悪化していた。広瀬さんが会社と交渉して、男性は休職し、カウンセリングや服薬によるうつ病治療に専念した。時間を気にせず喫茶店で過ごし、散歩したりした。昨年5月、仕事に復帰。今は、欧州に本社がある大手企業で要職に就き、日欧を頻りに往復する。「妻の行動がな

2008年10月～11月
朝刊連載・医療ルネサンス
「これ、統合失調症？」

この年、読売新聞で
最も反響のあつた記事

うつ病、発達障害の2次障害、
解離性障害、強迫的な傾向、ホル
モンバランスの乱れなどなど

↓
妄想、幻聴的なことを言うとすぐ
に統合失調症と診断される
「前駆症状」の乱発

実は子どもの1割に統合失調症様
体験あり

笠陽一郎伝説「危険な男」(仮) 講談社から年内発売予定



ヤクザがヤーサンなら
ワシらはキチガイの
キーサンや

境界知能という新たなレッテル



国内に1700万人

**どう受け止める
境界知能**

境界知能の人たち
古荘純一

7人に1人
= 日本に1700万人

- 言語化が苦手
- 段取りを覚えられない
- 行動がワントンボ遅い
- 対人関係の距離感が極端
- 金銭管理ができない
- ダメされやすい

第一人者の医師が明かす実態

講談社現代新書

Interview 話題 本
著者(氏) 古荘純一
「7人に1人」に広がる境界知能
国に1700万人に及ぶと推定
古荘純一

トラウマを生む強制入院 エンタメ化して伝える

精神医療のあり方を問う

VRアニメ『猫が見えたら』

僕は
病気じゃない!!

ベネチア国際映画祭
ノミネート作品



配信開始

精神医療をテーマにした仮想現実（VR）の作品が、医療関係者の間で静かな反響を呼んでいる。少年が精神科病院に強制入院させられてしまう話を、愛猫「にゃーご」の視点から描いた様子はリアルそのもの。一端を紹介したい。

「見えない猫」が見た 精神科病院のリアル

なおきが部屋の中を泳ぐようにさまよう
(作品の写真はいずれも講談社VRラボ提供)

VR作品「猫が見えたら」を手がけた講談社VRラボの代表取締役プロデューサーの石丸健二さん(中央区新堀)



「精神科病院の批判をしたいわけではないんです。ただ、まだまだ日本の精神医療の現実を知った時、いち患者目線で日本の精神医療は大丈夫なのかなって、純粹に不安に思えたんです」。作品を手がけた講談社VRラボ(中央区築地)の代表取締役、プロデューサーの石丸健二さん(57)が率直に語った。作品名は「猫が見えたら」(「YOU SEE A CAT」)。物語は高校一年生のなおきが愛猫「にゃーご」を「見えない」ことで、その幻覚を見るようになったことから始まる。心配したシングルマザーの母親が精神科病院への受診を勧め、嫌がるなおきを連れて、あつという間に強制入院となり、大量の投薬で体調を崩していく。

作品は約37分。VR用のゴーグルをはめると、なおきには見えるにゃーごの視点から描かれた現実が迫る。「VRの利点は臨場感。映像の中に入り込んで画面とゼロ距離になる。没入感とも言んですが」と石丸さん。猫の視点から、日本の現実を「目撃」できるような仕掛けにした。

VR空間では、入院中に医師らに抵抗すると、隔離室に連れられて両手両足を縛られる身体拘束を受け、スポンを下ろされてオムツをはかされていく。大量の投薬は、深海に投げ込まれたような暗さの中で、画面のゆがみや揺らぎによって不安定な状況表現していた。

視聴者が両手で握ったりモコンを上下左右に動かす、にゃーごが動き、振り向いたなおきが笑顔になる工夫もあり、にゃーご、なおきに感情移入しやすい。

監督は、国際的にも評価されるアニメーション作家の和田淳さん(45)。「本人目線にすると直接的すぎてしまうが、猫の視

点で描くことで主観と客観の間くらいの立ち位置で見てもえらと思う」と語る。

講談社VRラボは出版大手・講談社の子会社で、2017年設立。VRアニメの業界では、数多くの国際賞に輝くバイオニアだ。

そんな百戦錬磨のVRラボでも今回の脚本には一年半かかった。石丸さんも精神医療の分野に元々、問題意識があったわけではなく、関係者に話を聞きながら作り上げていったという。

精神医療に詳しいジャーナリストの佐藤光廣さんらに監修を受け、精神科医で劇作家のくるみざわしんさんの協力も得た。作品は昨年夏に完成した。

厚生労働省によると、精神科病院には約26万3千人が入院しており、なおきのような本人の同意に基づかない「強制入院」は約半数の13万人に上る。

世界的には精神科の病床数が減らし、地域コミュニケーションで

幻覚からの視点 VRで表現

「批判でなく知ってもらえたら」



文と写真・木原育子
紙面構成・小林麻那

暮らすあり方が主流。入院期間も、多くの経済協力開発機構(OECD)加盟国が40日以内なのに対し、日本は270日と突出してきた。こうした日本の長期入院は国連から何度も勧告を受けているが、社会側も精神疾患を抱えた人への偏見やステイグマ(負の烙印)の呪縛は根強い。

作品の視聴にはVR用のゴーグルが必要。条件が整えば、上映会を開く構想もある。石丸さんは「精神医療の実態を知らない人にこそぜひ、一緒に現実を知って、社会を変える一歩に近づけていけたら」と呼びかけている。



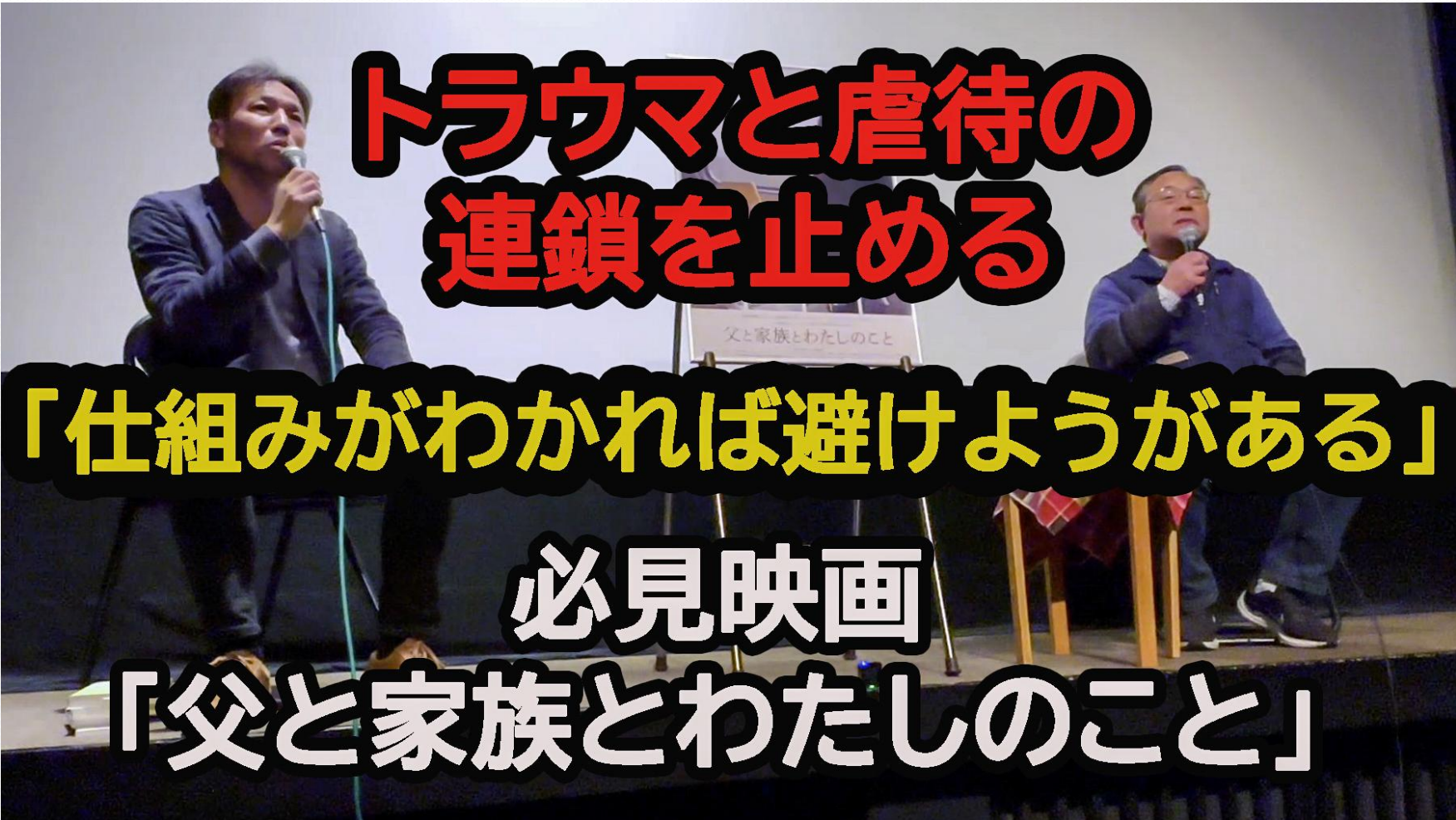
VR用ゴーグルをはめると精神医療の現場に没入していく

トラウマがあることを前提とした 精神科訪問看護

A man with short dark hair and a beard, wearing a light-colored striped button-down shirt over a dark t-shirt, stands behind a podium. He is holding a microphone in his right hand and gesturing with his left hand. A silver laptop is open on the podium in front of him. The background is dark.

トラウマ・インフォームド・ケア
25分でわかりやすく解説

浮かび上がる戦争トラウマ

A photograph of two men sitting on a stage, each holding a microphone and speaking. The man on the left is wearing a dark jacket, and the man on the right is wearing a blue jacket. Between them is a small sign on a stand that reads "父と家族とわたしのこと".

**トラウマと虐待の
連鎖を止める**

「仕組みがわかれば避けようがある」

必見映画

「父と家族とわたしのこと」

対話の力で統合失調症を治す トラウマと向き合う

つくばダイアログハウス開設
精神科医・斎藤環さん
インタビュー

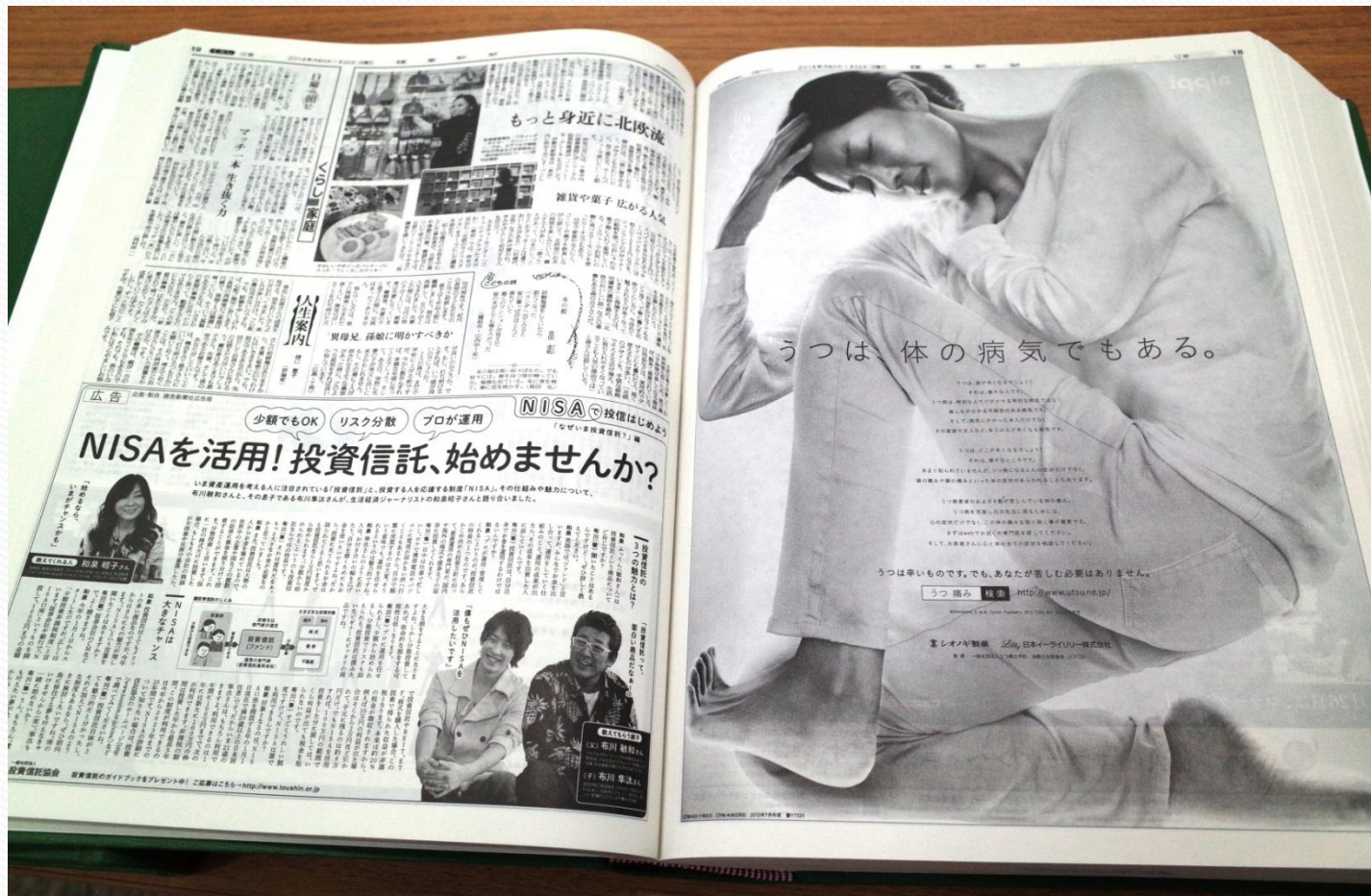
映画製作に向けて
クラウドファンディング開始



製薬会社の歪んだメディア戦略

抗うつ薬サインバルタを売るための「うつの痛み」キャンペーン(シオノギ製薬)
(体の痛みをうつ病の主症状であるかのように伝え、体の痛みで落ち込みがちな人に受診を呼びかける。あなたの体の痛みはうつ病が原因かも?というメッセージ)

2014年1月22日 読売新聞朝刊



データ提供し根拠論文

製薬2社、権威づけに利用

うつ病啓発キャンペーンと医師456人を対象としたインターネット調査を分けた。論文の中には、塩野義の68・6多から、体の痛みがうつ病の回復を妨げたと感じて「い」なでしてた。

この論文は、高知大精神科の准教授3人が、米国精神病理学会の学術誌に投稿し、2012年に掲載さ

れた。うつ病患者663人が10年に日本で行ったものだった。准教授は監修を務めた。論文の中には、塩野義製薬から編集協力を得たとあるが、両社の調査を利用したという「funding」が記されていない。

塩野義製薬と日本イーライリリーは、この論文を根拠に昨秋からテレビCMなどを展開。国際的な診断基準では、うつ病の主症状ではない頭痛や肩の痛みを、主症状であるかのように訴え、受診を促していた。ところがこの調査は、両社が作ったPR組織「うつ病啓発キャンペーン」に利用されている。

塩野義製薬と日本イーライリリーは、この論文を根拠に昨秋からテレビCMなどを展開。国際的な診断基準では、うつ病の主症状ではない頭痛や肩の痛みを、主症状であるかのように訴え、受診を促していた。ところがこの調査は、両社が作ったPR組織「うつ病啓発キャンペーン」に利用されている。

自作自演”キャンペーン”も

うつ病CM

主症状のように説明して受診を呼びかけ、テレビCMは昨秋から今年7月まで続いた。

啓発活動の根拠になったのは、2社が自らつくった広報組織によるインターネット調査。うつ病患者663人と医師456人からの回答結果を、この調査を監修した高知

大准教授らに提供した。准教授らがそのデータを論文化する、自分たちの調査であることを伏せてキャンペーンに利用した。

「自作自演」の手法について、塩野義製薬広報部は「調査を行われている方法の範囲内」と話している。

(佐藤光展)

間がかなるため、メーカーの調査を活用した。資金提供は受けていない。調査では私の質問も入れて、論文では独自解析を行っているので問題ない」とする。

塩野義製薬広報部は、キャンペーンの手法は「通常行われている方法の範囲内」と考えている。テレビCMは終了し再開予定はないが、ネットでは活動を継続する」としている。

研究費不正で氏名公表

文科省が指針 大学経費減額も

文科省が18日、研究費不正で氏名公表する指針を示した。大学など管

花粉情報	19日	大	阪	少ない
兵庫南部	少ない			
京都南部	少ない			
滋賀南部	少ない			
奈良北部	少ない			
和歌山北部	少ない			

大で15%削減する。長期間、改善されない場合には配分を停止する。

また、不正の調査期限を告発があった時から10日以内と定め、報告が遅れた日数に応じて、経費などを減額する。

- ① 製薬会社が作った薬の宣伝組織(疾患啓発組織)がインターネットで患者調査(ネット調査に快く協力するうつ病患者とはどういう人たちなのか?)を行い、「痛みに悩むうつ病患者が多い」との結果を導いた
- ② この宣伝用調査のデータを国立大学S准教授に提供し、専門会社を使って英語論文文化。これをS准教授らの名で米国の学会誌に投稿し、掲載
- ③ この論文を根拠に「体の痛みはうつ病の症状」と、痛みがあたかもうつ病の主症状であるかのように訴え、テレビCMや新聞広告を派手に展開した

「うつ」の痛み」CMに抗議

「うつ」の痛み」をキャッチフレーズに、製薬会社が昨年10月からテレビCMなどで続けるうつ病啓発キャンペーンに対し、医師や患者、家族から抗議の声があがっている。CMは、体の痛みをうつ病の主症状のように伝え、国際的な診断基準に体の痛みはない。ナレーションが一部変更されたものの、「体の痛みで落ち込んだだけでうつ病にされる。薬を売るための過剰啓発だ」との厳しい批判は続いている。

医師患者ら「過剰な啓発だ」

キャンペーンは、糖尿病性神経障害の痛みと、うつ病の両方に処方できる抗うつ薬「サインバルタ」を販売する塩野義製薬と日本イーライリリーが共同で展開。頭痛や肩の痛みもうつ病の症状のひとつとして、うつ病の治療で体の痛みも治療できると呼びかけている。塩野義製薬広報部は「高知大の研究で、痛みが悩むうつ病患者が多いと分かったため啓発した。しかし、体の痛みが国際的な診断基準になく、うつ病の主症状でないことは確かで、『うつ」の痛み』という言葉の変更を含め検討したい」と話している。

精神病院

社会にとって鬱陶しく感じる人たちを
“合法的”に閉じ込める場所

「医療が必要な人」とレッテルを張ることで、
隔離(長期入院)も身体拘束も薬漬けも可能

「社会防衛」(実質的な保安処分)という発想

AI時代の「クライシス・コール」がヤバイ

プーチン氏に反旗翻した体制側ブロガー、精神科病院に収容 ロシア

2026年3月21日 9:49

発信地:モスクワ/ロシア [ロシア , ロシア・CIS]

1/3



caption +



【3月21日 AFP】ロシアの体制側ブロガーが、突如としてウラジーミル・プーチン大統領を激しく

検索



※本動画の図解・一部画像はAI生成によるイメージを含みます。
理解補助を目的としており、内容の正確性はナレーションをご参照ください

U TIMES
// Video in Japanese

現代ロシア:言論封じと『精神医療』



中東戦争でガス価格が2倍に暴騰！イラン巨大ガス田炎上で加
、2026年世界経済の破滅的シナリオを徹底解説

日本はもっとひどい腐れ外道国 警察が16歳を平気で殺す

冤罪→逮捕勾留→精神的虐待→PTSD→「餓死」

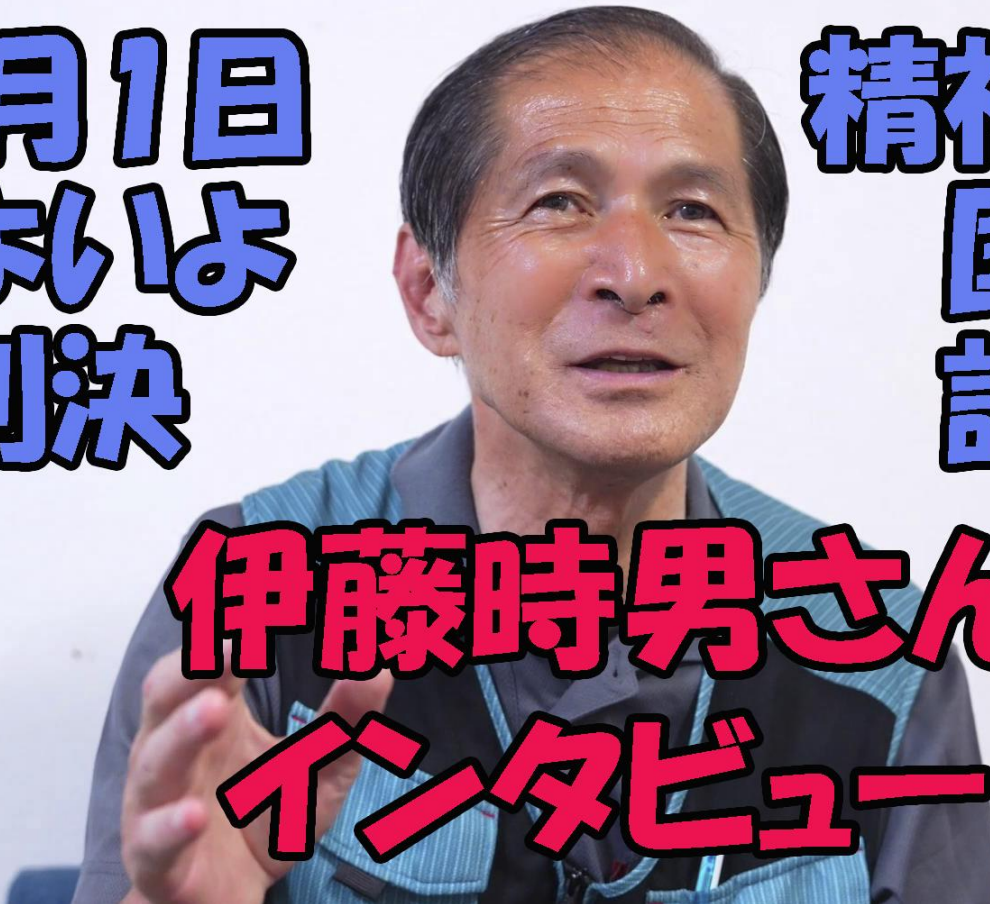


東日本大震災による原発事故で 福島・双葉病院からやっと出られた

**10月1日
いよいよ
判決**

**精神医療
国賠
訴訟**

**伊藤時男さん
インタビュー**



奈良時代～ 癡狂／岩倉・大雲寺など寺で治療／お祓い

1900年

私宅監置(地方長官の許可で、患者を座敷牢に閉じ込める。責任者は主に家族)を合法化した精神病患者監護法が成立

1950年

精神衛生法が成立。座敷牢は禁止(でも密かに残っていた)。都道府県に公立精神病院の設置義務を課す

1964年

ライシャワー事件が発生。精神分裂病と診断されていた19歳の男が、駐日大使ライシャワーの脚を刺してケガを負わせる
日米協調時代を揺るがす大事件→「精神障害者を野放しにするな」。朝日新聞が「変質者を隔離せよ」と主張

1960年代～ 民間精神病院乱造時代へ

現在も世界の精神病床の2割(30万床)を日本が占めている

1980年代 宇都宮病院事件が発覚 看護師らのリンチで患者2人が死亡 事件発覚前の3年間に入院患者200人超の死亡が発覚 東大病院の医者たちと結託して患者の遺体を解剖

◎1983年4月、食事の内容に不満を漏らした入院患者が看護職員に金属パイプで約20分にわたって乱打され、約4時間後に死亡した。また同年12月にも、見舞いに来た知人に病院の現状を訴えた別の患者が、職員らに殴られ翌日に急死した。

◎宇都宮病院は、事件の発覚前から私刑として「看護師に違法な診療を行わせる」「患者虐待」「作業療法と称して石川院長一族の企業で違法に働かせる」「病院裏の畑で農作業に従事させ収穫物を転売する」「ベッド数を上回る患者を違法に入院させる」「死亡した患者を看護師やケースワーカーが違法に解剖する」などの違法行為が行われていた。

精神疾患ではない富山の男性が民間救急によって拉致され、報徳会宇都宮病院に強制入院。多額の金銭の使い込み発覚を恐れた家族が仕組んだ？

2022年6月
宇都宮市役所で民事訴訟の会見



息子夫婦の悪巧みで強制入院



重大事件の精神鑑定でも 知られる医師が病気では ない女性を強制入院に

2013年7月6日読売新聞

離婚でもめていた夫が搬送
業者に多額の金を渡し、妻
を拉致して大阪府立精神
医療センターへ。元教師で、
心身共に健康な妻を、指定
医らは「病識がない」などと
して「統合失調症」と診断、
保護室に監禁した。

この指定医は重大事件の
精神鑑定を何件も引き受け
ていた人物だった。

医師にウソ、妻強制入院

元夫らに賠償命令

大阪地裁

離婚を求めて訴訟中だった元夫(66)に精神疾患がないのに無理やり精神科に入院させられたとして、大阪府内の女性(64)らが元夫らを相手取り、慰謝料など1900万円の損害賠償を求めた訴訟の判決が5日、大阪地裁であった。森木田裕裁判長は、元夫が、家族の同意による強制入院が可能な医療保護入院の制度を悪用したと認定し、離婚訴訟を有利に進めるための不当な行為だ」として計約220万円の支払いを命じた。

精神保健福祉法では、配偶者ら家族が同意し、精神保健指定医の資格を持つ医師の診断があれば、本人が拒否しても強制的に精神科に入院させることができ

る。

判決によると、元夫は2011年1月、民間の救急搬送業者に依頼し、別居中の女性を府内の医療機関の精神科に搬送。離婚訴訟中であることを伏せたうえで、妻には妄想や幻想がある」と告げて医師にうその病歴書面を提出、女性を精

神疾患と誤診させ閉鎖病棟に隔離させた。女性は約6時間後、代理人弁護士士の抗議で退院した。

森木田裁判長は判決で、

「元夫は財産分与を命じられるのを免れようと、女性を入院させて離婚訴訟が却下されるのを狙った」と指摘。救急搬送業者に対しては、訴訟中と知りながら元夫に協力し、搬送に抵抗した女性と長女(37)の2人に軽傷を負わせたとして、一部の賠償責任を認めた。

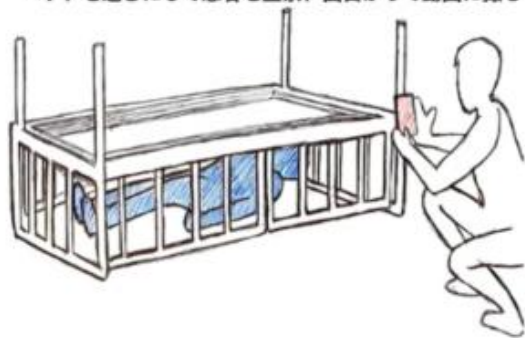
一方、女性が強制入院を決めた医師2人と医療機関を相手に損害賠償を求めた別の訴訟で、大阪地裁は先月、医師らに過失はなかったとして訴えを退ける判決を言い渡し、女性側が控訴している。

看護師が頭を蹴り、踏みつけて首を折った(3発入れた) (石郷岡病院事件)



例) 裸にしてトイレで放水、柵付きベッドを逆さにしてその下に患者を閉じ込める、ガムテープで車いすに巻きつけて倒す、床や陰部にジャムを塗って他の患者に舐めさせる...

ベッドを逆さにして患者を監禁、面白がって動画に撮る



患者を全裸にしてトイレで水をかける



2021/5/11



院内集会 神出病院事件を繰り返さないー虐待事件の政策的解決に向けて

限定公開



死亡しないと 出られない 精神病院

滝山病院は
なぜ
潰れない？

弁護士
相原啓介さん
インタビュー

東京都が
情報困い込み
退院妨げ!?



第26回 「精神医療ダークサイド」最新事情

看護師の男が、患者への暴行容疑で今年2月に

逮捕された医療法人社団孝山会滝山病院（東京都八王子市）。この原稿を書いている2月末時点の逮捕者は1人だが、他の看護師も告発されているので逮捕者は増えるだろう。この病院の悪評は以前から際立っていた。60%を超える異常な死亡退院率が常態化し、筆者は4年前、内部告発者を探した事が有る。その時は見つからず踏み込めなかったが、今回、遂に闇が暴かれることになった。

ゴミも人間もポイ捨てされる山

滝山病院を便利使いした行政の罪

この病院の看護師のほとんどは非常勤で、仕事を長く続ける人は少ない。惨状を目の当たりにして、耐えられず退職していくのだ。辞めた看護師たちは、随分前からネットなどで滝山病院の実態を明かしていた。

「職員から患者への暴言が酷い。透析患者が多いのにバイタルチェックもいい加減で、入院させられている人たちが可哀そうでならない」

「患者さんへの対応が横柄で高圧的な職員が多く、驚くことばかり。自分はそんな環境に慣れたらいいな」と思っている退職した」

「こんな病院があるのか、といった感じ。理想が

崩壊している」

「患者さんに暴言や無駄な拘束が多々ある。拘束も理不尽な看護師の言い訳で行うこともある」

「透析患者が多くて驚く。感染面の配慮がなく、食事栄養バランスが全く考えられていない」

「非常勤の夜勤は1回3万3千円だったのに、事前に何の通達もなく2千円も下げられた」

「私が勤めた病棟は半分以上の患者に人工呼吸器がのっけていて、会話のできない人が多かった」

「とにかく古い。汚い。お金を稼ぐためと割り切らなければ続かない」

「気が重くなるコメントはこの位にして、最後に病院側によると思われる素敵な書き込みを紹介する。」

「気が楽な職場です。自然環境に恵まれているので和みます。交通も便利で楽。給与も良くアルバイトには最高の条件です。スタッフの皆さんも優しく教えて頂いています。シフトも満点



病院のフェンスに張られた絵(筆者撮影)

です。年齢もバラバラですが働きやすいです」

こんな病院を、なぜ定期的な検査を行う行政が放置したのかと言えば、理由は簡単。行き場の無い患者を放り込む最終処分場として、役所や福祉事務所などが便利使いしてきたからだ。この病院のウリは人工透析。身体が弱った精神疾患患者が、家族や地域から邪魔者扱いされて見捨てられると、役所などを介してこのような病院が受け皿になる。特に生活保護の患者が餌食になりやすい。

心身の適切な治療ができる病院が殆ど無いという事情はあるものの、「滝山に送れば一丁上がり」という無能で冷酷な役人

佐藤 光展

ジャーナリスト



たちの判断は、「仕方なかった」では済まされない。かつて朝倉病院事件を引き起こした人物が院長を務める滝山病院の惨たらしの実態は、東京都も随分前から把握していたはずだ。それなのに我関せずと手を打たず、患者たちを劣悪な環境に置き続け、見殺しにした。八王子北部の静かな集落を抜けて、細い坂道を上った山の中にある滝山病院の周辺では、ゴミの不法投棄が目立つ。子供達が書いたポイ捨て禁止の絵が、病院を取り巻くフェンスの各所に張られている。この山ではまた、人間もポイ捨てされて

悪いのは精神病院業界だけ？

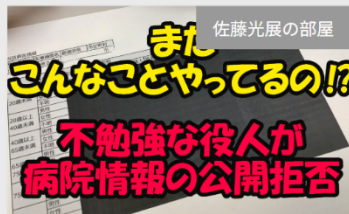
OUTBACKプロジェクトとは

お問い合わせ

佐藤光展のページ

写真でたどるOUTBACKストーリー

2025年4月



佐藤光展の部屋

精神科病院の情報公開を邪魔する役人たち／630調査編・第2弾／佐藤光展のメンタルヘルスあれこれ

2025年4月29日

厚生労働省が毎年行っている630調査には、市民が病院選びを行うための有益な情報が詰まっています。東京、神奈川、大阪などは情報を全て開示していますが、現在も公開を拒んでいる時代錯誤な県も存在します。公務員の質が問われています [...]

続きを読む



佐藤光展の部屋

佐藤光展の「精神医療ルネッサンス」日精協会長・山崎學さんの「悪役、の胸の内」／国が「保安」をやらないから民間が／感染症対策は独自ネットワーク検討(2021年9月の記事の再掲載)

2025年4月29日

2021年7月31日、NHKが放送したETV特集「ドキュメント 精神科病院×新型コロナ」の中で、日本精神科病院協会の会長・山崎學さんがふと漏らした言葉が波紋を広げました。「精神科医療というのはね、僕はよく言うんですけど [...]

続きを読む

最近の投稿

佐藤光展の部屋



7人に1人、1700万人が「境界知能」!?／メンタルヘルスあれこれ

2026年6月22日

佐藤光展の部屋



入院して病気仲間と農業に励む／入院森田療法の貴重な体験談／メンタルヘルスあれこれ

2026年6月1日

最新情報



岩淵さんご夫妻から「トライログ」を学ぶ／第2回支援者向け演劇ワークショップ

2026年6月1日

佐藤光展の部屋



「にせもの」精神科医の診療報酬を4割カット?!／信頼される「駅前クリニック」とは／銀座泰明クリニック院長・茅野分さんに聞いた／佐藤光展のメンタルヘルスあれこれ

2026年5月14日

最新情報



計8回の支援者向け演劇ワークショップが藤沢でスタート／豪華講師陣も参加してオ



隔離収容型の精神病院は 医療費の無駄の極み



精神疾患の患者たちはなぜヘイトの対象にされるのか

「精神病院に長期入院しなければいけない人たち」

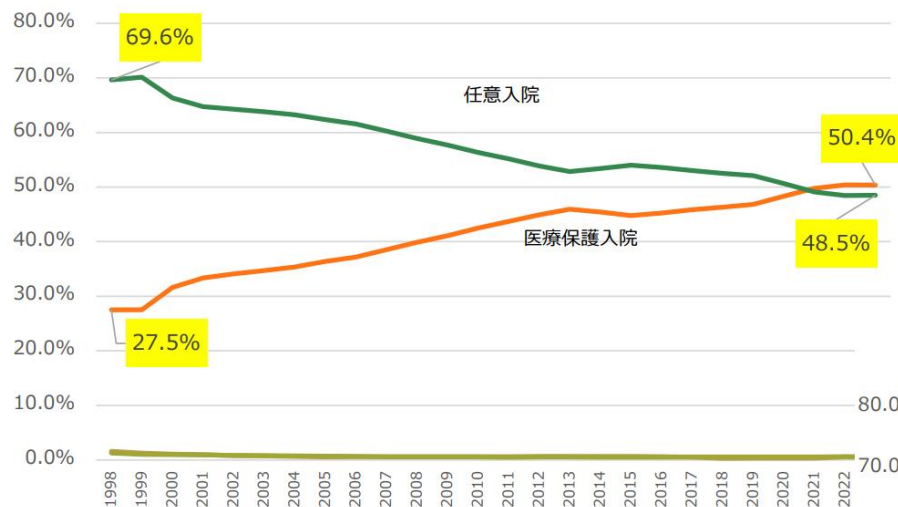
「だから危ない。何をするかわからない」

国の隔離収容政策が強めた偏見、無理解

精神障害者の殺人・放火は確かに多い→どう伝える



入院形態別比率（全国）

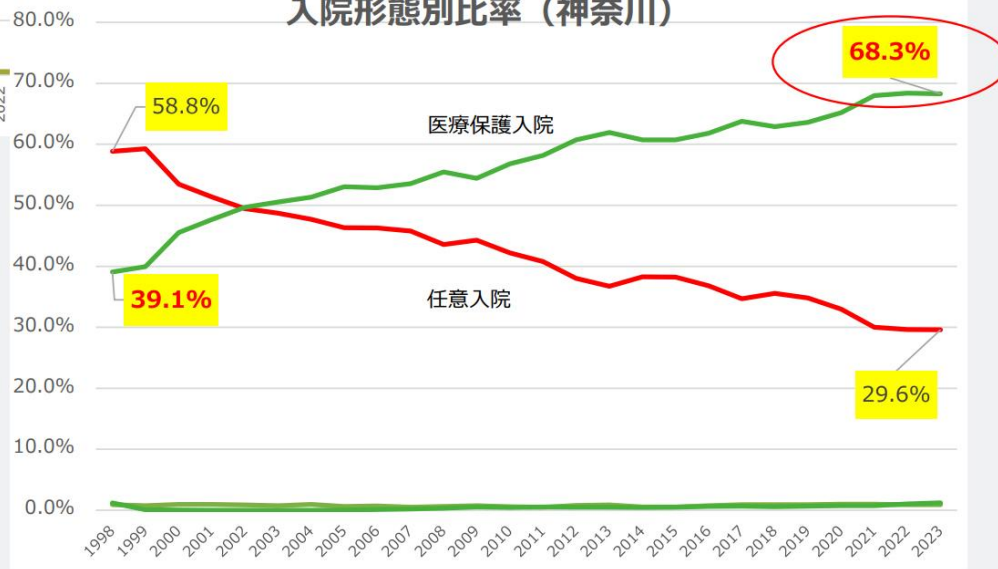


全国的には
2021年ごろに医療保護入院者数が任意入院者数を超えました

神奈川県は
既に2002年ごろから医療保護入院者数が任意入院者数を
超えています
現在、神奈川県では入院者の3分の2以上が医療保護入院で
す。
また、630調査データから、任意入院の方の多くが閉鎖病
棟で入院処遇を受けていることがわかります。

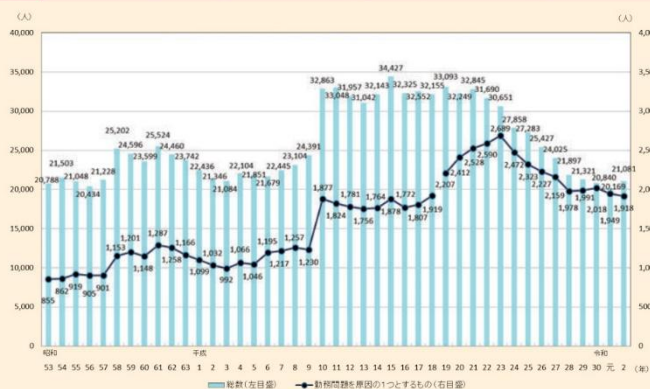
神奈川県は、全国に比べて人口に対する精神科病棟が少ない傾向があります。

入院形態別比率（神奈川）



みんなで減らした自殺者数

第3-1図 自殺者数の推移（総数、勤務問題を原因・動機の1つとするもの）



（資料出所）警察庁の自殺統計原票データに基づき厚生労働省作成

（注）平成19年の自殺統計から、原因・動機を最大3つまで計上することとしたため、平成18年以前の単純比較はできない。

第3-2図 自殺者数総数のうち、勤務問題を原因・動機の1つとするものの割合



（資料出所）警察庁の自殺統計原票データに基づき厚生労働省作成

何これ？

心のサポーター？

ココサポ

心のサポーター養成事業（厚生労働省）

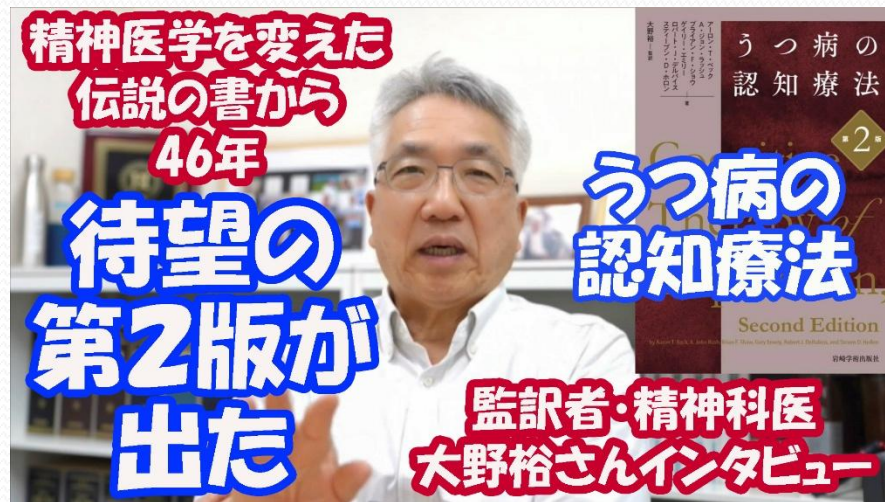
心のサポーター養成の仕組み



- 正しい知識と理解に基づき、家族や同僚など身近な人に対して、傾聴を中心とした支援を行う小学生からお年寄りまでを対象としています
- メンタルヘルスファーストエイド（こころの応急処置）の考えを参考に新設しています
- 2033年度末までに100万人の養成を目指しています
- こころの病気を持つ人に対する差別や偏見（スティグマ）を持つことなく共生できる風土づくりや、こころの不調の早期発見やサポートに役立つ 知識や方法を

認知行動療法のすすめ

なんでもかんでも楽観的に考える思考法ではない
視野を広げ、さまざまな情報を集めた上で判断する
考え悩むよりもまず「やってみなはれ」(行動活性化)
アサーション(自分も相手も大事にしながら自己主張する)



体のエネルギーは
食べることで復活する

心のエネルギーは
どうやって充電する？

心のエネルギーを高める行動 何をすればいい？

- ◎楽しいこと・癒されること
- ◎やりがい・達成感を得られること
- ◎他者とのふれあいがあること



**患者の本当の姿や
魅力、才能を
もっと発信していこう**

患者たちの表現力、発信力を高めて 社会を変える

2021年11月7日 第1回横浜公演



精神医療国家賠償請求訴訟の原告 伊藤時男さんも出演(第1回横浜公演)



ドリフ外来

英語字幕入り

ultra-short psychiatric session

Okay, next patient, please come in.

精神科医 松本俊彦さん
飛び入り出演

「父と娘と市販薬」
短編劇

OUTBACKアクターズスクール

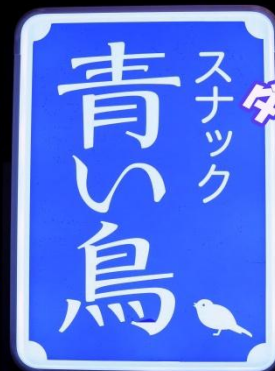
第4回横浜公演

「ひきこもっていいとも！」
ダイジェスト版

OUTBACKアクターズスクール

第3回
横浜公演

OUTBACK



ダイジェスト版

アクターズ
スクール



OUTBACK アクターズスクール
6期生 募集中!

詳細はこちらのスライドをクリック!

This banner features a red background with white and yellow text. It includes several circular inset images: a woman and a man smiling, a group of people in costumes, a man in a green shirt, and a group of people on a stage. Yellow stars are scattered around the text.



支援者向け
『演劇表現で元気に』
ワークショップ
5月から開催

A woman with short dark hair, wearing a light-colored cardigan over a yellow top, is smiling. The background is a soft-focus image of green foliage.

佐藤光展著「心の病気はどう治す？」講談社現代新書

月刊誌「集中 / MedicalConfidential」での
佐藤光展の長期連載

公益財団法人日本フィランソロビック財団
第1回 ビヨンド賞
～精神障害者ともにある～
OUTBACKプロジェクトが受賞しました!

受賞者が決定いたしました
令和4年度 第8回
こころのバリアフリー賞
【団体】 OUTBACKアクターズスクール

**OUTBACK
アクターズスクール**

**沖縄公演
開催**

8月29日

那覇文化芸術劇場なは一と

